

2011 年度（平成 23 年度）入学試験第 2 次選抜試験（小論文試験）

次の文章（1990 年初出）を読み、後の問題に答えなさい。

【文章省略】

下記論文の文章を示し、以下のように出典等の記載を付した。

出典：長尾龍一「地下道に寝る権利 ―実定法の極限に生きて」同『法学に遊ぶ 新版』（慈学社出版、2009 年）2～11 頁より。出題の都合上、小見出しを削除してローマ数字に置き換える等の変更を加えた。

問題

設問 1 筆者は、新保守主義との関係において、「地下道に寝る権利」をどのようなものとして理解しているのか。400 字以内で答えよ。

設問 2 「地下道に寝る権利」に対して、新保守主義の立場から反論をすることした場合、いかなる立論が可能か。1600 字以内で答えよ。